

クラス	TU311	担当教員	橋本 洋治
テーマ	保育者・教師の育ちと園・学校づくり		
著書・論文 研究課題等	<p>○「戦後教育改革期のPTAにおける教育要求共有化の可能性と限界に関する事例研究」『中部教育学会紀要』第3号、1-15頁、2003年。</p> <p>○「子どもの自己肯定意識の向上をめざす学社連携施策に関する研究－宮城県におけるProject Adventureの事例から－」『日本学習社会学会年報』第2号、49-57頁、2006年、共著。</p> <p>○「学校運営協議会の導入による学校経営改善の可能性に関する研究」『名古屋短期大学研究紀要』第48号、135-145頁、2010年、共著。</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：園・学校づくり、保育者・教師の育ち、保護者・住民参加			
<p>【目的・内容など】 子どもを中心にした優れた園（保育園・幼稚園など）、学校づくりというものが、一人のスーパーマン的保育者・教師の存在で実現するものではなく、保育者・教師集団、保護者・住民集団としての育ちと力量の総和とともにあるということをいろんな角度から考えていきましょう。</p> <p>3年次には、次年度における卒業論文の作成を視野に入れて、各自で研究課題及び方法などを決定し、レポートにまとめることを目標とします。研究課題については、「保育者・教師の育ちと園・学校づくり」をゼミのテーマとして設定してはいますが、関連する文献・資料の学習や園や学校現場の見学などを通して各自の問題意識を深化、発展させ、個別の具体的な課題設定へとつなげていきたいと考えています。4年時には、3年次に学習・研究の結果としてまとめた各自のレポートをさらに発展させ、各種調査などを通じて卒業論文へと仕上げることを目標とします。</p>			
<p>【授業計画】 （3年次）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文への取り組み方 ②問題意識の整理及び結果の発表 ③先行研究、資料の探索・学習及び結果の発表 ④研究課題の検討 ⑤研究方法の検討 ⑥レポートの執筆作業及び発表 <p>（4年次）</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦中間発表会 ⑧中間発表会を踏まえた問題点の整理と解決に向けた作業 ⑨卒業論文の執筆作業 ⑩卒業論文発表会 			
<p>【使用テキスト】 白井利明・高橋一郎『よくわかる卒論の書き方（第2版）』ミネルヴァ書房、2013年、など</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>充実感いっぱい卒業して行ってほしいです。そのために最大限のお手伝いをします。予習や課題などやるのがたくさんあってとても大変だとは思いますが、いっしょに学びあっていきましょう。ちなみに、全員参加のゼミ合宿も行います。</p> <p>園や学校現場から直接学ばせていただくことも大切にしていきたいです。現在全くの構想中ではありますが、例えば、子どもの自主性を育むために自然の素材を利用した保育活動を職員一体で取り組んでいる福井県〇市公立保育園における実践、学校運営協議会という制度を「自前のもの」として展開している学校運営協議会の実践などの中から、各自の関心に応じて選択し見学に出かけるというようなことをやっていけたらと考えています。</p> <p>※ 本ゼミを希望する方は<u>エントリーの前に必ず面談に来て下さいね。</u></p>			